

インプラント治療に関する情報提供に関する研究

研究分担者 塩田真 東京医科歯科大学准教授  
則武加奈子 東京医科歯科大学助教  
荒木孝二 東京医科歯科大学教授

研究要旨

日本口腔インプラント学会専門医を対象に実施した歯科領域の自由診療の情報提供のあり方に関するアンケート調査の結果、回答者のほとんどが医療安全やインプラント治療に関する情報提供を行っていることが明らかとなった。また、回答者の多くがインプラント治療に関する問題の相談や対応の経験があることも明らかとなった。

A. 研究目的

歯科領域における医療安全ならびに自由診療に関する患者の関心は、安全・安心で質の高い医療を受けたいという基本的な願いに直結することもあり非常に高いと考えられる。また、歯科診療における自由診療に関しては、患者への歯科医院からの情報提供が不十分であることに起因した問題も少なからずみられている。

診療に関する最も確かな情報は、各々の患者の状態に即した主治医からの説明であるべきであるが、一方でインターネット、新聞、雑誌など他の様々な情報も判断材料として利用されることが考えられる。しかし、特にフリーアクセスが可能な情報には医学的な根拠が乏しいものも少なからず見られるなど、国民が誤った情報を収集してしまう問題も存在している。

しかし、医療安全や自由診療に関して、歯科医院側が患者にどのような情報提供を行っているのか、また、患者がどのような情報を求めているのかに関する大規模調査はこれまでほとんど行われていなかった。

本分担研究では、自由診療のうち特にインプラント治療に焦点を当てたアンケートを作成し、作成したアンケートを用いてインプラント治療に従事している日本口腔インプラント学会専門医取得者に対する医療安全やインプ

ラント治療に関する歯科医院における情報提供の実態調査を行い、次年度の研究計画内容として予定している患者に対する情報提供の内容、情報提供方法に関する提言書作成のための基礎資料とすることである。

B. 研究方法

①アンケートの作成

インプラント治療を実施する際の①患者に対する情報提供の内容や方法等、②医療機関-患者間で経験した問題の内容や対処方法等、に関する大規模な実態調査はこれまでほとんど実施されていないため、まず本分担研究に使用するアンケートの作成を行った。

アンケートの作成にあたっては、研究代表者と研究分担者で作成したアンケート（案）を第1回班会議（2018年12月18日）で質問内容を討議した。その後、研究協力者である日本歯科医師会と協議、日本歯科医学会への報告を経てアンケート項目を確定した（資料1：アンケート調査用紙（日本口腔インプラント学会専門医用））。

②アンケート調査の実施

アンケートの調査対象としては、日頃よりこれらの診療に多く従事して

いると考えられる日本口腔インプラント学会専門医1,194名より無作為に抽出した1,000名に実施すること、また無記名のアンケート調査とすることが第1回班会議での協議を経て決定した。

日本口腔インプラント学会の理事会へ本研究への協力を依頼し、協力承認を経て実施した。送付先タックシールの提供を受け、このうち無作為に1,000を抽出し、アンケート調査委託業者へ渡した。使用しなかったタックシールは遅滞なく厳重に処分した。

無記名アンケート回答用紙は鑑文(資料2)を添えて2019年2月1日に送付し、回答期限を2019年2月15日とした。

期日までに返送された回答用紙は、事前に指定した入力マニュアルに従って調査委託業者によってデータ化された。納品された入力データのクレンジング作業にあたっては随時アンケート回答用紙原本を参照しながら分担研究者が行った。データの分析作業にあたっては、Microsoft Office2013 ExcelならびにIBM SPSS23を使用した。

なお、本研究は最新版の「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施されている。また、研究代表者、研究分担者は東京医科歯科大学が実施している研究倫理教育講習会を受講済みである。また、研究実施に対する東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会の承認(承認番号：D2018-068)を得て実施した。使用したアンケート用紙には、説明文書の内容を理解し、アンケート調査に協力することに同意した場合のみチェックする欄を設けた。

調査が実施されていないインプラント治療に関して①患者に対する情報提供の内容や方法等、②医療機関-患者間で経験した問題の内容や対処方法等、に関する無記名アンケート調査により実施した。

### C. 研究結果

#### 【回答率・有効回答数】

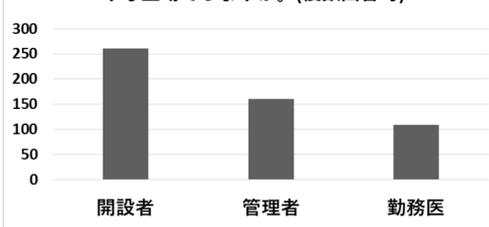
送付したアンケート用紙の各1000部のうち、回収率は42.4%であり、各々の有効回答数は393であった。

#### 【回答者やその勤務に関する質問】

主たる勤務先での立場が開設者もしくは管理者である割合は292名(74.3%)、勤務医は101名(25.7%)であった。(図1-1)

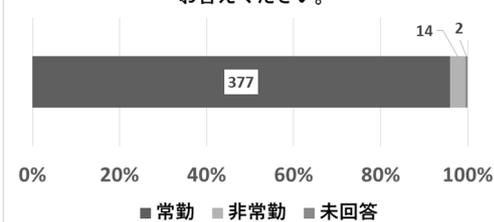
主たる勤務先での勤務形態は常勤

図1-1 貴方は主たる勤務先においてどのような立場でしょうか。(複数回答可)



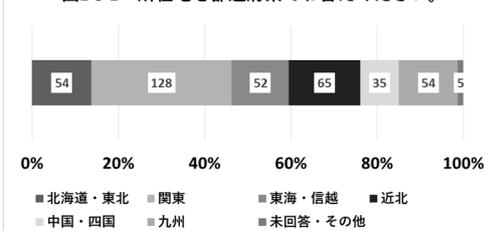
が377名(95.9%)、非常勤が14名(3.6%)、未回答が2名(0.5%)であった。(図1-2)

図1-2 貴方の主たる勤務先での勤務形態をお答えください。



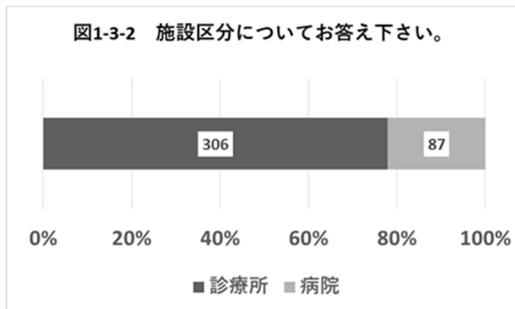
主たる勤務先の所在地は、日本歯科医師会ブロック分けに準ずると、北海道・東北エリアが54名(13.7%)、関東エリアが128名(32.6%)、東海・信越エリアが52名(13.2%)、近北エリアが65名(16.5%)、中国・四国エリアが35名(8.9%)、九州エリアが54名(13.7%)、その他が1名(0.3%)、未回答が4名(1.0%)で

図1-3-1 所在地を都道府県でお答えください。

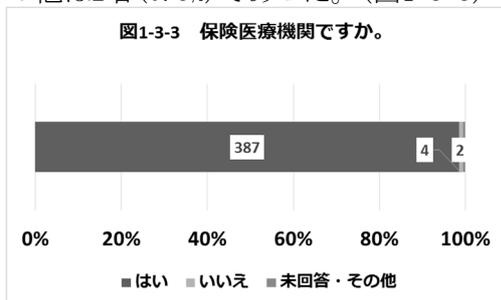


あった。(図1-3-1)

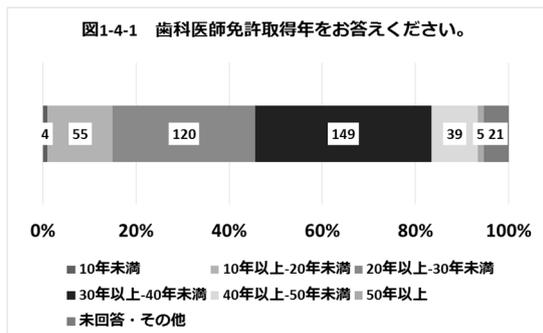
施設区分は診療所が306名(77.9%)、病院が87名(22.1%)であった。(図1-3-2)



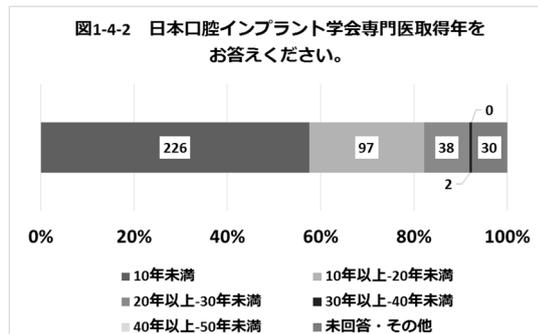
保険医療機関は387名(98.5%)、非保険医療機関は4名(1.0%)、未回答・その他は2名(0.5%)であった。(図1-3-3)



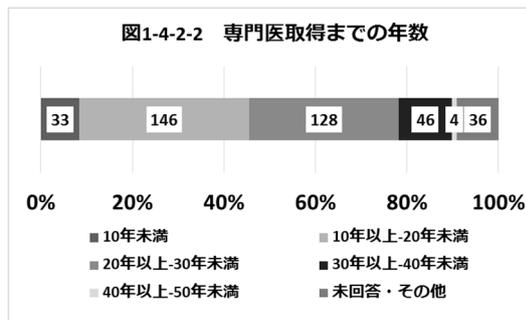
回答者の歯科医師免許取得年は、卒後10年未満が4名(1.0%)、10年以上20年未満が55名(14.0%)、20年以上30年未満が120名(30.6%)、30年以上40年未満が149名(38.0%)、40年以上50年未満が39名(9.9%)、50年以上が5名(1.3%)、未回答・その他が21名(5.3%)であった。(図1-4-1)



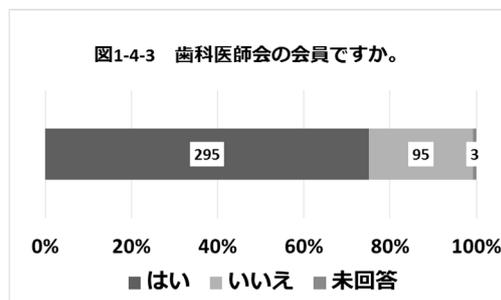
日本口腔インプラント学会専門医取得年は、卒後10年未満が226名(57.5%)、10年以上20年未満が97名(24.7%)、20年以上30年未満が38名(9.7%)、30年以上40年未満が2名(0.5%)、40年以上が0名(0%)、未回答・その他が30名(7.6%)であった。(図1-4-2)



上記回答より導かれた専門医取得までの年数は、10年未満が33名(8.4%)、10年以上20年未満が146名(37.2%)、20年以上30年未満が128名(32.6%)、30年以上40年未満が46名(11.7%)、40年以上4名(1.0%)、未回答・その他が36名(9.2%)であった。(図1-4-2-2)



歯科医師会会員は295名(75.1%)、歯科医師会非会員は95名(24.2%)、未回答は3名(0.8%)であった。(図1-4-3)

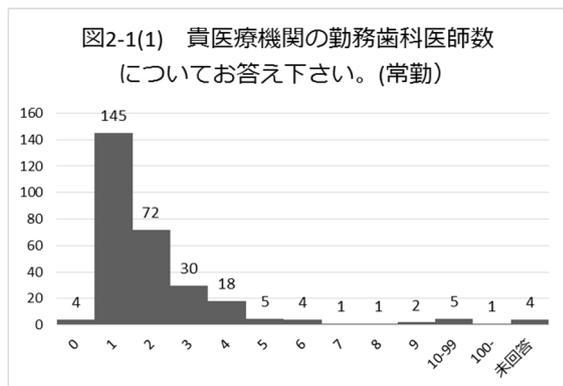


【勤務先に関する質問(開設者・管理者のみ)】

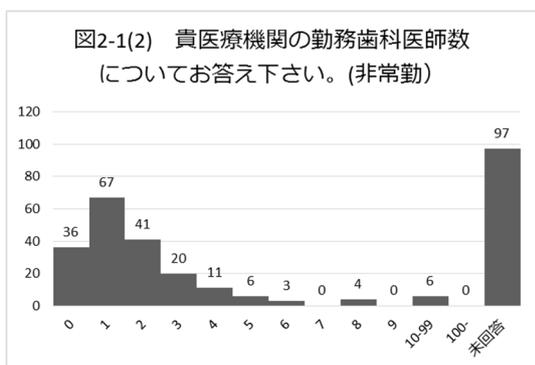
開設者・管理者のみに勤務歯科医師数、自由診療を行った年間新患者数(2018年1月-12月)、矯正歯科治療以外の自由診療、矯正歯科治療の実施者について尋ねた。

常勤数は1名が最も多く145名(49.

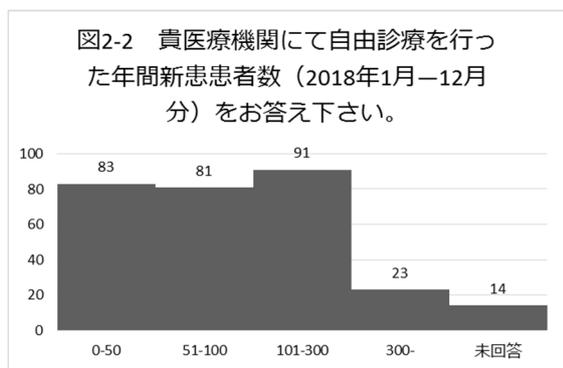
7%)、ついで2名が72名(24.7%)だった。  
(図2-1(1))



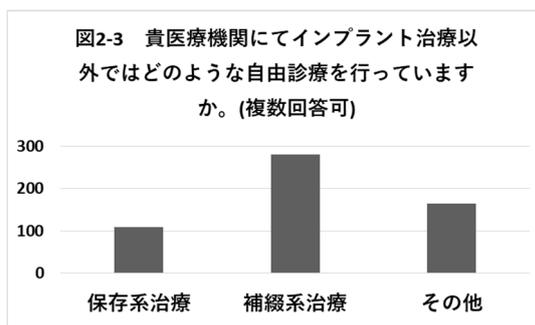
非常勤数は1名が最も多く67名(23.0%)、ついで2名が41名(14.1%)だった。  
(図2-1(2))



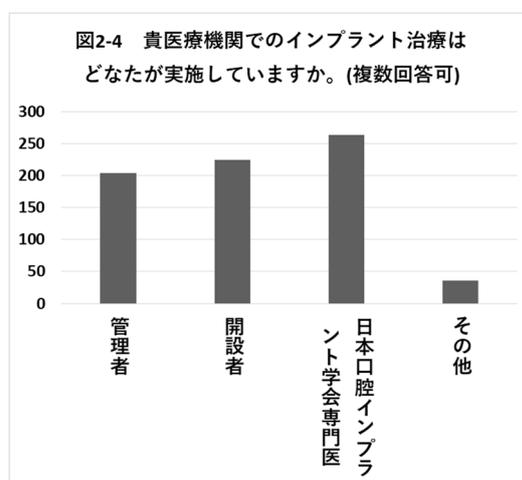
年間新患者数は50人以下が83名(28.4%)、51-100人が81名(27.7%)、101-300人が91名(31.2%)、300人以上が23名(7.9%)、未回答が14名(4.8%)だった。  
(図2-2)



インプラント治療以外の自由診療は保存系治療が109名(37.3%)、補綴系治療が280名(95.9%)、その他が164名(56.2%)だった。(図2-3)

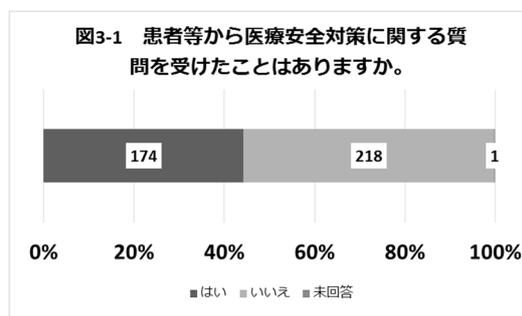


インプラント治療の実施者は管理者が204名(69.9%)、開設者が224名(76.7%)、日本口腔インプラント学会専門医が263名(90.1%)、その他が36名(12.3%)だった。(図2-4)



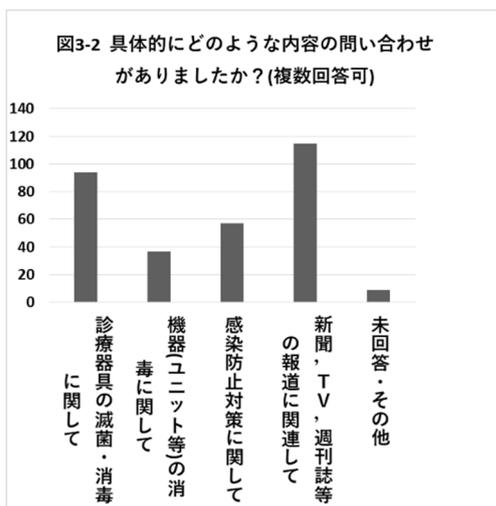
【医療安全に関する質問】

患者等から医療安全対策に関する質問を受けたことがあるのは174名(44.3%)、ないのは218名(55.5%)、未回答は1名(0.3%)であった。(図3-1)

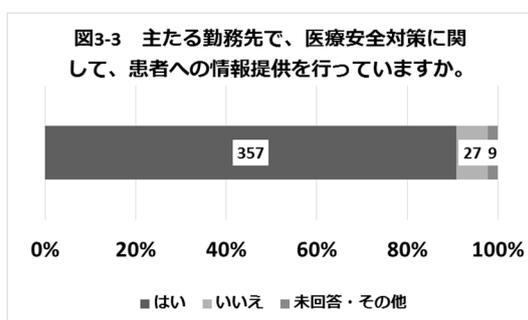


質問を受けた174名の質問内容は、診療器具の滅菌・消毒に関してが94名

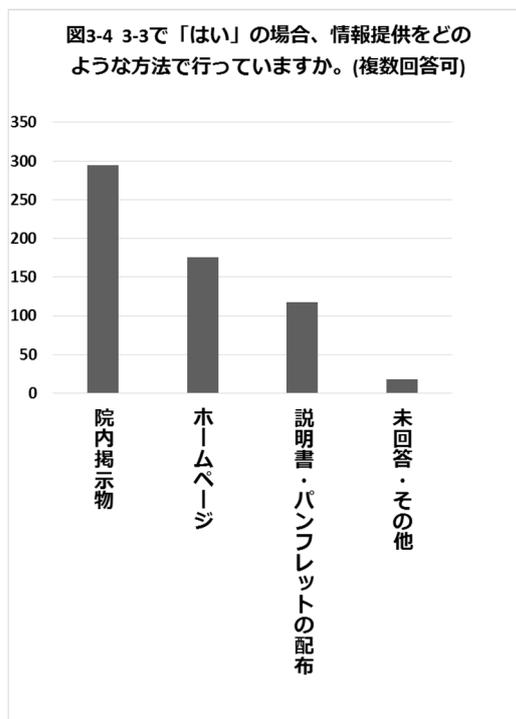
(54.0%)、機器（ユニット等）の消毒に関してが37名（21.3%）、感染防止対策に関してが57名（32.8%）、新聞、TV、週刊誌等の報道に関連してが115名（66.1%）、未回答・その他が9名（5.2%）であった。（図3-2）



主たる勤務先で医療安全対策に関して患者へ情報提供を行っているのは357名（90.8%）、行っていないのは27名（6.9%）、未回答・その他は9名（2.3%）であった。（図3-3）

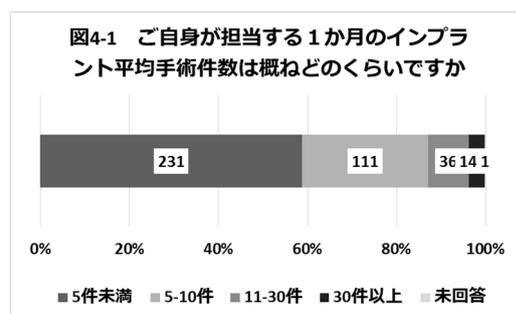


情報提供を行っている場合、どのような方法で行っているかは、院内掲示物が295名（82.6%）、ホームページが176名（49.3%）、説明書・パンフレットの配布が118名（33.1%）、未回答・その他18名（5.0%）であった。（図3-4）

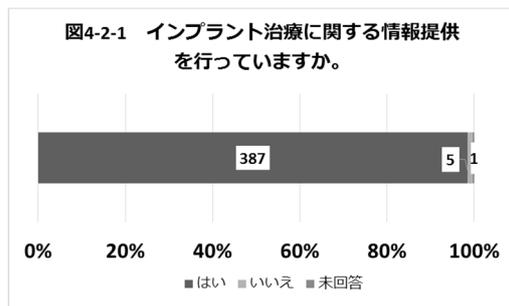


#### 【インプラントに関する質問】

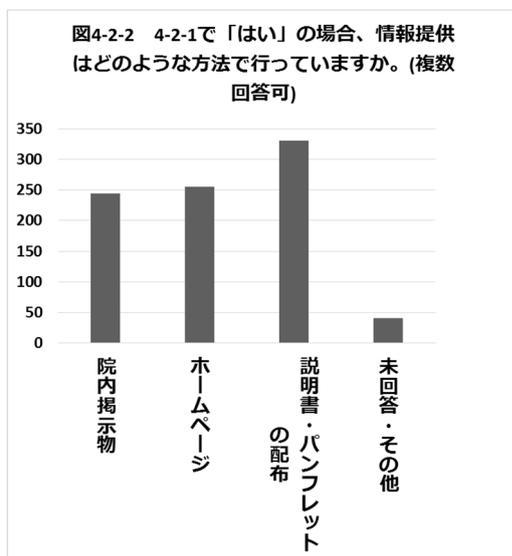
インプラント治療（自由診療のみ）に関する設問は以下の通りである。回答者自身が担当する1ヶ月のインプラント平均手術数は5件未満が最も多く231名（58.8%）、ついで5-10人が111名（28.2%）、11-30件が36名（9.2%）、30件以上が14名（3.6%）、未回答が1名（0.3%）であった。（図4-1）



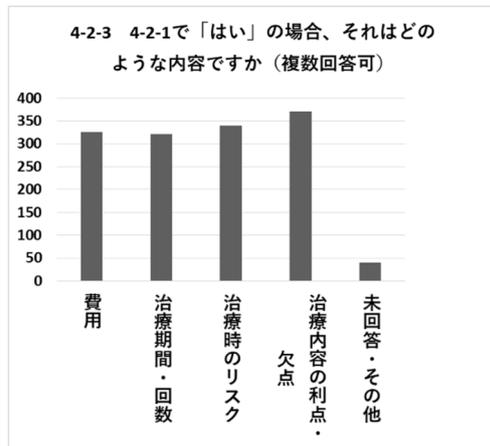
インプラント治療の内容に関する情報提供を行っているのは387名（98.5%）で、行っていないのは5名（1.3%）、未回答は1名（0.3%）であった。（図4-2-1）



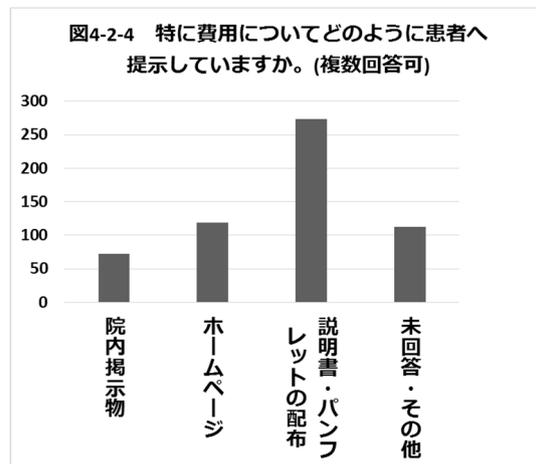
情報提供を行う方法は、院内掲示物244名(63.1%)、ホームページ255名(65.9%)、説明書・パンフレットの配布331名(85.5%)、未回答・その他41名(10.3%)であった。(図4-2-2)



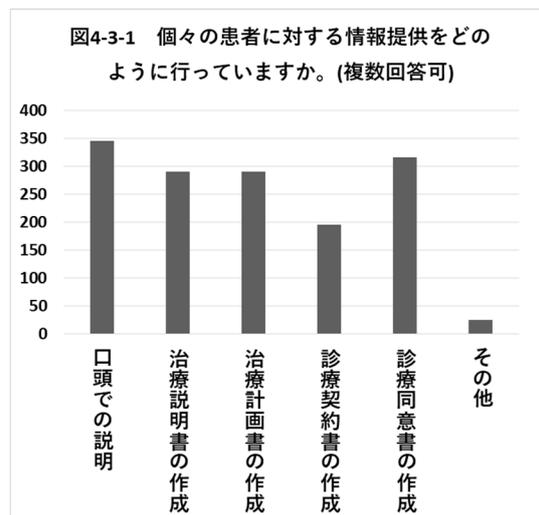
情報提供の内容は費用325名(84.0%)、治療時間・回数321名(83.0%)、治療時のリスク340名(87.9%)、治療内容の利点・欠点371名(95.9%)、未回答・その他40名(10.3%)であった。(図4-2-3)



特に費用に関する情報提供の方法は、院内掲示物72名(18.3%)、ホームページ119名(30.3%)、説明書・パンフレットの配布273名(69.5%)、未回答・その他113名(28.8%)であった。(図4-2-4)

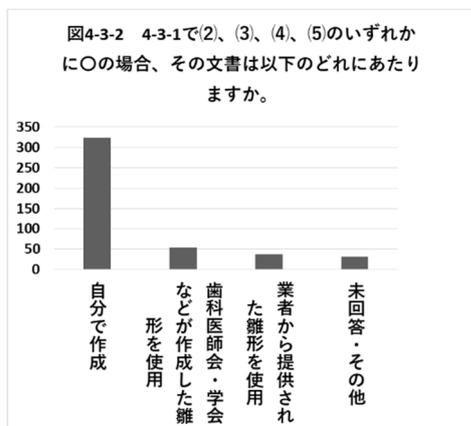


個々の患者に対する情報提供は口頭での説明346名(88.0%)、治療説明書の作成291名(74.1%)、治療計画書の作成291名(74.1%)、診療契約書の作成196名(49.9%)、診療同意書の作成316名(80.4%)、その他24名(6.1%)であった。(図4-3-1)

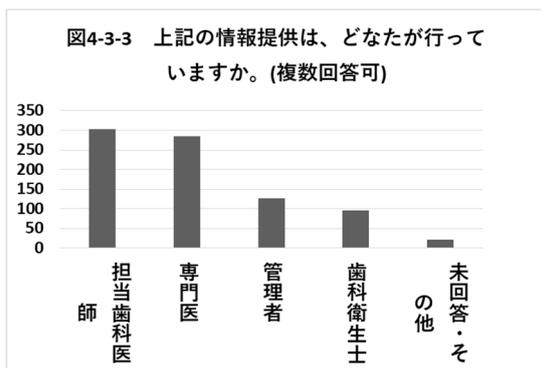


治療説明書、治療計画書、診療契約書のいずれかを選択している回答者のうち、その文章の作成方法は、自分で作成324名(85.0%)、歯科医師会・学会などが作成した雛形を使用54名(14.2%)、業者から提供された雛形を使用38名(10.0%)、未回答・その他31名(8.0%)であった。

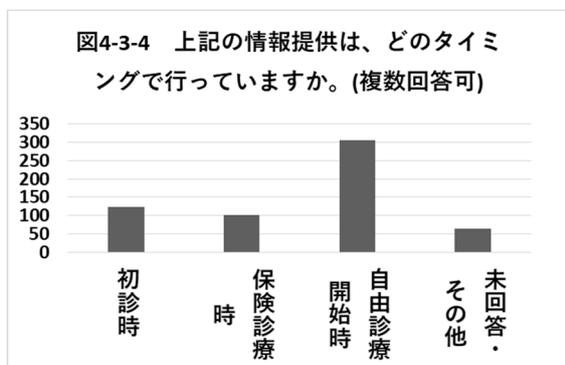
1%)であった。(図4-3-2)



個々の情報提供を行っているのは、担当歯科医師302名(76.8%)、専門医285名(72.5%)、管理者127名(32.3%)、歯科衛生士95名(24.2%)、未回答・その他21名(5.3%)であった。(図4-3-3)

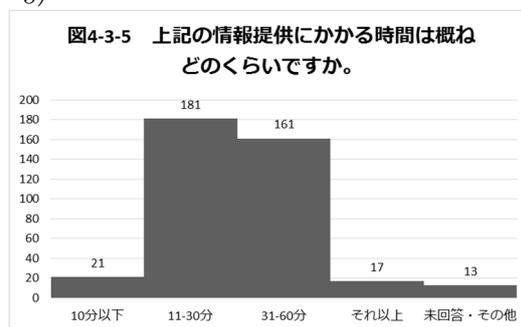


情報提供を行うタイミングは、初診時124名(31.6%)、保険診療時102名(26.0%)、自由診療開始時307名(78.1%)、未回答・その他65名(16.5%)であった。(図4-3-4)

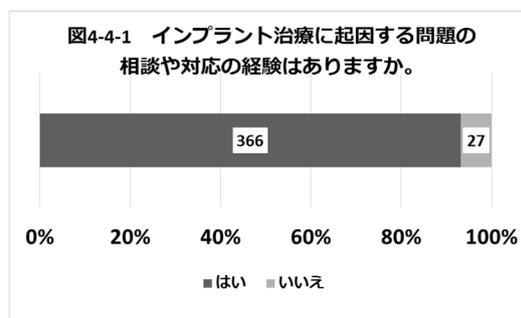


情報提供にかかる時間は、11-30分が最も多く181名(46.1%)、ついで31-60分

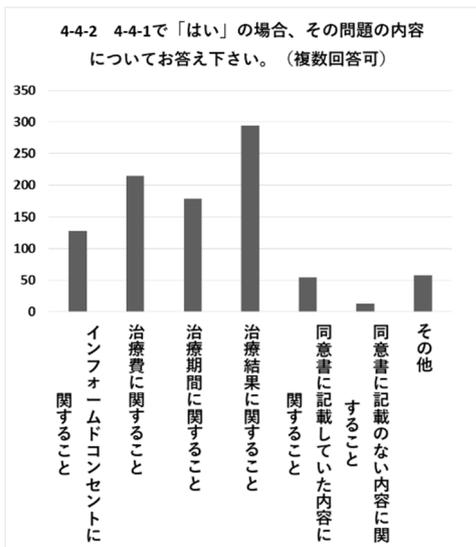
0%が161名(41.0%)であった。(図4-3-5)



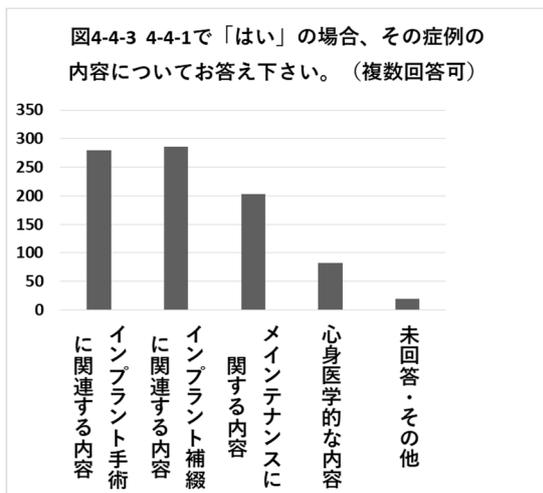
インプラント治療に起因した問題に関する相談や対応の経験があるのは366名(93.1%)、ないのは27名(6.9%)であった。(図4-4-1)



問題の内容としては、医療管理上の事項として、インフォームドコンセントに関すること128名(35.0%)、治療費に関することが215名(58.7%)、治療期間に関すること179名(48.9%)、治療結果に関すること294名(80.3%)、同意書に記載していた内容に関すること54名(14.8%)、同意書に記載のない内容に関すること13名(3.6%)、その他58名(15.9%)であった。(図4-4-2)

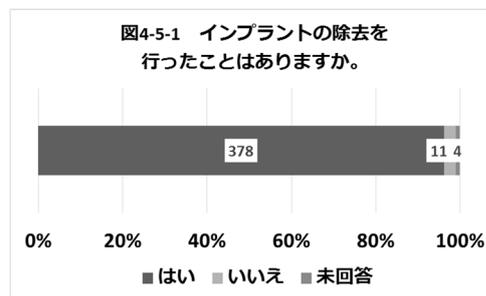
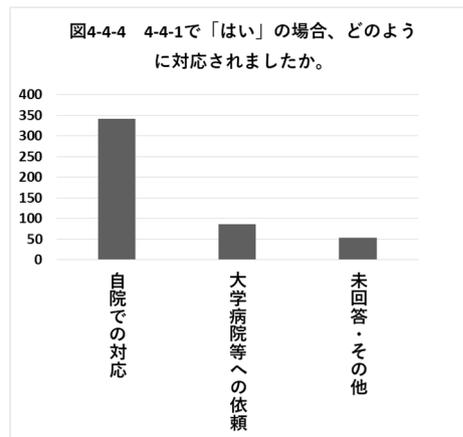


問題に対応した症例内容は、インプラント手術に関連する内容280名(76.5%)、インプラント補綴に関連する内容286名(78.1%)、メンテナンスに関する内容203名(55.5%)、心身医学的な内容83名(22.7%)、その他17名(4.6%)であった。(図4-4-3)

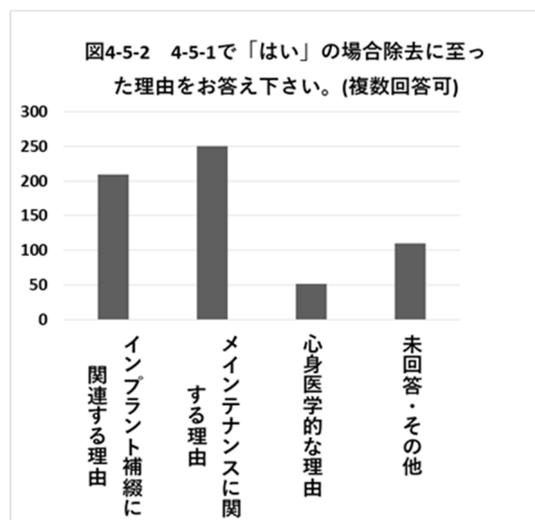


問題への対応法は自院での対応341名(93.2%)、大学病院等への依頼87名(23.8%)、未回答・その他54名(14.8%)であった。(図4-4-4)

インプラントの除去について、行ったことがあるのは378名(96.2%)、ないのは11名(1.0%)、未回答は4名(1.0%)であった。(図4-5-1)



除去に至った理由はインプラント補綴に関連する理由209名(55.3%)、メンテナンスに関する理由250名(66.1%)、心身医学的な理由52名(13.8%)、未回答・その他110名(29.0%)であった。(図4-5-2)



## D. 考察

今回の調査では予算に限りがありインプラント治療に携わる機会が多い

と考えられる日本口腔インプラント学会専門医1,194名中1000名に作成したアンケートを送付した。回答率は、42.4%と送付前に想定していた4割を超え、回答者の医療安全や情報提供に対する高い関心がうかがえた。また、通常アンケート送付時には一定数はみられてしまう送付時の住所不定返送等がほとんどみられず（2件/1000件）、このことは日本口腔インプラント学会専門医が、学会員としてアクティブに活動していることや、協力いただいた日本口腔インプラント学会事務局の管理の良さによるものと考えた。

回答者の属性に関しては、歯科医院を経営する立場にある開設者や管理者（計292人）と雇われて勤務する立場にある勤務医（101人）の比率が約3:1であった。また、回答者の96%は（主たる勤務先に）常勤として勤務していた。

勤務先の所在地は、関東地方が32%とやや多く、中国・四国地方が9%とやや少なめではあったが、概ね全国のブロックからの回答が得られた。

回答者の勤務先は78%が診療所、22%が病院であり、割合としては診療所が多いが、歯科医師全体の割合と比較すると病院の割合がやや多い（平成28年度三師調査では病院の従事者割合は11.8%）結果となった。また、回答者の勤務地のほとんど（98%）は保険医療機関であった。

回答者は、歯科医師免許取得後30年以上、20年以上の者が全体の67%であり山なりの分布となった。今回の調査

で回答者の年齢は質問項目にないため概算となるが、40代後半から60代の回答者が多いと考えられる。日本口腔インプラント学会専門医取得後10年未満の者が58%と最も多く、10年以上が25%、20年以上が10%と右肩下がりグラフとなった。

上記2問の回答から日本口腔インプラント学会専門医取得までの年数としては10年以上（37%）、20年以上（33%）が主にみられた。

また、回答者の75%は歯科医師会の会員であった。開設者管理者に限ると会員の割合は90.4%であった。

続いて、開設者・管理者のみ（対象者292名）に対する行った勤務先に関する詳細な質問としては、勤務先の常勤数は1名が50%と最も多く、2名が25%であった。一方で10名以上の回答も2%程度認められた。非常勤数は未回答が33%と最も多く、1名が23%、2名が14%、0名が12%であった。年間新患者数は101-300人が31%と最も多く、50人以下が28%、51-100人が28%と回答に幅が見られた。

インプラント治療以外の自由診療としては、補綴系治療（96%）はほとんど行っており、保存系治療は37%程度実施されていた。その他として、矯正歯科治療42.1%、ホワイトニング11.0%などが記載されていた。ほとんどの医療機関では診療内容がインプラント治療に特化しているわけではないことが示唆される。

医療安全に対する回答結果から、患者から医療安全対策に関する質問を受けたことがあると回答した者は44%で

あり、質問されたことがない者の方が55%と多い結果となった。具体的に問い合わせがあった内容としては、新聞、TV、週刊誌等の報道に関連したものが66%と最も多く、ついで診療器具の滅菌・消毒に関してが54%となった。インプラントや診療器具の滅菌・消毒に関する報道が多くみられていることも影響しているかもしれない。

勤務先で、医療安全対策に関する患者への情報提供を行っている者は91%であり、行っていない理由に関しては、「必要性がない・当たり前」が33%、「質問されない」が22%など医療安全は当然すべきことであることを前提としているため情報提供に至っていないという趣旨の回答が目立った。

実際に患者から質問された内容としては、近年増加傾向にある診療器具の滅菌や報道に関する内容が多くみられた。また情報提供方法としては、院内掲示物やホームページ、パンフレットなど多くの回答者が複数の方法で情報提供を行っていた。

インプラント治療に関する回答者が担当するインプラント治療に関する状況としては、インプラント手術は1ヶ月5件未満が59%、5-10件が28%であった。インプラント治療に関する情報提供は回答者のほとんど（98%）がしているとの回答であった。情報提供の方法としては、説明書・パンフレットの配布が86%、ホームページ66%、院内掲示物63%に加えその他10%には口頭での説明、カウンセリングや説明会などの回答が見られた。また、情報提供の内容

としては、治療内容の利点欠点（96%）、治療時のリスク（88%）、治療期間・回数（83%）、費用（84%）と概ね多くの回答者が多岐にわたる内容の情報提供を行っている様子うかがえた。特に費用に関しては、説明書・パンフレットの配布による提示が70%であった。

個々の患者に対する情報提供に関しては、口頭での説明（88%）に加え、診療同意書の作成（80%）、治療説明書、治療計画書、診療契約書など様々な方法で行っていることが明らかとなった。これらの文章の作成にあたっては、自分で作成が85%と大部分を占め、歯科医師会や学会、業者が作成した雛形を利用しているケースも見られた。また、その他としては「大学で作成したものを使用」などの回答が見られた。

これらの情報提供は、担当医師からなされることが最も多く（77%）、加えて、専門医（73%）、管理者、歯科衛生士などによる情報提供も行われていることが明らかとなった。

情報提供のタイミングとしては、自由診療開始時が78%と最も多く、初診時、保険診療時と続いた。情報提供にかかる時間は11-30分が46%と最も多く、31-60分が41%としっかりと時間をかけて情報提供を行っている様子うかがえた。

インプラント治療に関する問題の相談や対応の経験に関しては大多数にあたる93%があると回答した。

具体的な問題としては、医療管理上の事項として、治療結果に関するこ

とが80%、治療費に関すること（59%）  
などが多くみられ、症例内容として  
は、インプラント補綴に関する内容が7  
8%、インプラント手術に関する内容が7  
7%と多くみられた。問題への対応法と  
しては、自院での対応が93%に加え、大  
学病院等への依頼が24%であった。

インプラントの除去に関しては、9  
6%が行ったことがあると回答し、除去  
にいたった理由としては、メインテナ  
ンスに関する理由が66%、インプラント  
補綴に関する理由が55%であった。

#### E. 結論

日本口腔インプラント学会専門医  
を対象に実施した歯科領域の自由診療  
の情報提供のあり方に関するアンケー  
ト調査の結果、回答者のほとんどが医療  
安全やインプラント治療に関する情報  
提供を行っていることが明らかとなっ  
た。また、回答者の多くがインプラント  
治療に関する問題の相談や対応の経験  
があることも明らかとなった。この結果  
を踏まえ今後の研究を進めていきたい。

#### F. 健康危険情報

なし

#### G. 研究発表

##### 1. 論文発表

なし

##### 2. 学会発表

なし

(資料1)

厚生労働科学研究 「患者中心の歯科医療を行うための情報提供内容調査と提供方法構築の研究」

歯科領域の自由診療(矯正歯科治療・インプラント治療等)の

情報提供のあり方に関するアンケート調査

(日本口腔インプラント学会専門医用)

説明文書の内容を理解し、アンケート調査に協力することに同意いたします

(↑同意の際は必ずチェックをお願い致します)

回答は当てはまる番号を○で囲んで下さい。また、( )内への回答は簡潔に記入して下さい。

**1. 回答者ご自身・回答者が主に勤務する医療機関(以下、主たる勤務先)に関する以下の設問にお答えください。**

1-1 貴方は主たる勤務先においてどのような立場でしょうか。(複数回答可)

(1) 開設者 (2) 管理者 (3) 勤務医

1-2 貴方の主たる勤務先での勤務形態をお答えください。

(1) 常勤 (2) 非常勤

1-3 主たる勤務先についてお答えください。

1-3-1 所在地を都道府県でお答えください。( )

1-3-2 施設区分についてお答え下さい。

(1) 診療所 (2) 病院(大学病院・特定機能病院・その他)

1-3-3 保険医療機関ですか。

(1) はい (2) いいえ

1-4 回答者ご自身についてお答えください。

1-4-1 歯科医師免許取得年をお答えください。西暦\_\_\_\_\_年

1-4-2 日本口腔インプラント学会専門医取得年をお答えください。西暦\_\_\_\_\_年

1-4-3 歯科医師会の会員ですか。(1) はい (2) いいえ

**2. 以下の質問は主たる勤務先において開設者・管理者の方のみお答えください。**

**(その他の方は、3. にお進みください)**

2-1 貴医療機関の勤務歯科医師数についてお答え下さい。

(1) 常勤\_\_\_\_(\_\_\_\_)人 (2) 非常勤\_\_\_\_(\_\_\_\_)人

2-2 貴医療機関にて自由診療を行った年間新患者数(2018年1月—12月分)をお答え下さい。

(1) 50人以下 (2) 51-100人 (3) 101-300人 (4) それ以上(約\_\_\_\_人)

2-3 貴医療機関にてインプラント治療以外ではどのような自由診療を行っていますか。(複数回答可)

(1) 保存系治療 (2) 補綴系治療 (3) その他(\_\_\_\_)

2-4 貴医療機関でのインプラント治療はどなたが実施していますか。(複数回答可)

(1) 管理者 (2) 開設者 (3) 日本口腔インプラント学会専門医 (4) その他 ( )

### 3. 医療安全対策に関する以下の設問にお答えください。

3-1 患者等から医療安全対策に関する質問を受けたことはありますか。

(1) はい (2) いいえ

3-2 具体的にどのような内容の問い合わせがありましたか?(複数回答可)

(1) 診療器具の滅菌・消毒に関して

(2) 機器(ユニット等)の消毒に関して

(3) 感染防止対策に関して

(4) 新聞、TV、週刊誌等の報道に関連して (5) その他 ( )

3-3 主たる勤務先で、医療安全対策に関して、患者への情報提供を行っていますか。

(1) はい (2) いいえ

3-4 3-3で「はい」の場合、情報提供をどのような方法で行っていますか。(複数回答可)

(1) 院内掲示物 (2) ホームページ (3) 説明書・パンフレットの配布

(4) その他 ( )

3-5 3-3で「いいえ」の場合、情報提供を行っていない理由をお聞かせください。

( )

### 4. インプラント治療に関する以下の設問にお答えください。

4-1 ご自身が担当する1か月のインプラント平均手術件数は概ねどのくらいですか

(1) 5件未満 (2) 5-10件 (3) 11-30件 (4) 30件以上

4-2 インプラント治療に関する患者への情報提供について

4-2-1 インプラント治療に関する情報提供を行っていますか。

(1) はい (2) いいえ

4-2-2 4-2-1で「はい」の場合、情報提供はどのような方法で行っていますか。(複数回答可)

(1) 院内掲示物 (2) ホームページ (3) 説明書・パンフレットの配布

(4) その他 ( )

4-2-3 4-2-1で「はい」の場合、それはどのような内容ですか(複数回答可)

(1) 費用 (2) 治療期間・回数 (3) 治療時のリスク (4) 治療内容の利点・欠点

(5) その他 ( )

4-2-4 特に費用についてどのように患者へ提示していますか。(複数回答可)

(1) 院内掲示物 (2) ホームページ (3) 説明書・パンフレットの配布

(4) その他 ( )

4-3 インプラント治療に関する個々の患者に対する情報提供について

4-3-1 個々の患者に対する情報提供をどのように行っていますか。(複数回答可)

(1) 口頭での説明 (2) 治療説明書の作成 (3) 治療計画書の作成 (4) 診療契約書の作成

(5) 診療同意書の作成 (6) その他 ( )

4-3-2 4-3-1 で②、③、④、⑤のいずれかに○の場合、その文書は以下のどれにあたりますか。

- (1) 自分で作成 (2) 歯科医師会・学会などが作成した雛形を使用
- (3) 業者から提供された雛形を使用 (4) その他 ( )

4-3-3 上記の情報提供は、どなたが行っていますか。(複数回答可)

- (1) 担当歯科医師 (2) 専門医 (3) 管理者 (4) 歯科衛生士 (5) その他 ( )

4-3-4 上記の情報提供は、どのタイミングで行っていますか。(複数回答可)

- (1) 初診時 (2) 保険診療時 (3) 自由診療開始時 (4) その他 ( )

4-3-5 上記の情報提供にかかる時間は概ねどのくらいですか。

- (1) 10分以下 (2) 11-30分 (3) 31-60分 (4) それ以上(約 )分

#### 4-4 インプラント治療に起因する問題について

4-4-1 インプラント治療に起因する問題の相談や対応の経験はありますか。

- (1) はい (2) いいえ

4-4-2 4-4-1 で「はい」の場合、その問題の内容についてお答え下さい。(複数回答可)

- (1) インフォームドコンセントに関する事
- (2) 治療費に関する事
- (3) 治療期間に関する事
- (4) 治療結果に関する事
- (5) 同意書に記載していた内容に関する事
- (6) 同意書に記載のない内容に関する事(具体的に: )
- (7) その他 差し支えない範囲で具体的に記載ください ( )

4-4-3 4-4-1 で「はい」の場合、その症例の内容についてお答え下さい。(複数回答可)

- (1) インプラント手術に関連する内容
- (2) インプラント補綴に関連する内容
- (3) メインテナンスに関する内容
- (4) 心身医学的な内容
- (5) その他 ( )

4-4-4 4-4-1 で「はい」の場合、どのように対応されましたか。

- (1) 自院での対応 (2) 大学病院等への依頼 (3) その他 ( )

#### 4-5 インプラントの除去について

4-5-1 インプラントの除去を行ったことはありますか。

- (1) はい (2) いいえ

4-5-2 4-5-1 で「はい」の場合除去に至った理由をお答え下さい。(複数回答可)

- (1) インプラント補綴に関連する理由
- (2) メインテナンスに関する理由
- (3) 心身医学的な理由
- (4) その他 ( )

**以上で終了です。ご協力ありがとうございました。**

(資料2)

2019年 2月 1日

日本口腔インプラント学会 専門医 各位

**「歯科領域の自由診療(矯正歯科治療・インプラント治療等)の  
情報提供のあり方に関するアンケート調査」へのご協力をお願い**

厚生労働科学研究(H30-医療-一般-001)

「患者中心の歯科医療を行うための情報提供内容調査と提供方法構築の研究」

研究代表者 荒木孝二

(東京医科歯科大学 統合教育機構)

拝啓

厳寒の候、皆様にはますますご健勝のほどお喜び申し上げます。

さて、この度、厚生労働科学研究「患者中心の歯科医療を行うための情報提供内容調査と提供方法構築の研究」の一環といたしまして、「歯科領域の自由診療(矯正歯科治療・インプラント治療等)の情報提供のあり方に関するアンケート調査」を実施させていただくこととなりました。

つきましては、ご多忙中誠に恐縮ですが、下記の趣旨をご理解の上、本調査にご協力下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

■本調査について

患者である国民が歯科医療、特に自由診療に関して具体的にどのような情報提供を求めているのか、どのように情報を得ているか、どのような情報提供が患者の安心感につながるのかといったことはこれまでに十分な調査はなされておられません。本研究では、患者が安全・安心で質の高い医療を受けられるための適切な情報提供の内容、および情報提供方法に関して検討するために、今年度は自由診療のうち特に矯正歯科治療ならびにインプラント治療における情報提供の実態に関するアンケート調査を公益社団法人 日本矯正歯科学会 認定医、公益社団法人 日本口腔インプラント学会 専門医を取得されている先生方から無作為に抽出された先生方へ実施することとなりました。今後の歯科医療を推進する上で基礎資料となります。なお、本調査は、上記2学会の承諾を得て実施されておりますことを申し添えます。

調査票に記入されましたら、必ず添付の返信用封筒に封入した上で2019年2月15日(金)までにご郵送いただけますようお願い申し上げます。

本調査は無記名で実施されるものであり、ご回答いただいた内容から医療機関、個人を特定することはございませんので、ご安心ください。

(裏面へ続く)

■自由意志での参加と参加同意の撤回について

本研究への協力は自由です。なお、無記名で実施するため、調査票を返送いただいた後で同意撤回を希望される場合、該当する調査票を特定し、除外することができない点について、予めご了承ください。

■研究倫理・情報の取り扱いについて

本調査は、東京医科歯科大学歯学部倫理審査委員会の承認のもとに行われております。また、得られた調査結果は、集計後の値を専門学会や学術誌に公表する可能性がございます。

■本調査のお問い合わせ先

東京医科歯科大学 歯科総合診療部 則武加奈子

連絡先 : noritake.irm@tmd.ac.jp (メール不可の方 03-5803-5568)